

◆中・高の6年間を見通した学習内容の流れを提示する

段階を踏んだ系統的な指導をするためにも、学習内容がどのようにつながり、どのような経過をたどるのかを一覧表にすると、学習の見通しがつき、生徒が自主的・自立的に学習することができます。

「サクシード」「サクシードⅡ」においては、英語・数学・国語それぞれにおいて、中学校と高校で学習する内容の系統性・つながりを示した表などを提示してありますので、授業で関連した内容を指導する折りに有効に活用してください。

●「サクシードⅡ」(数学)に示した学習内容の系統性(「サクシード」p.10参照)

	関 数	関連 内容	式	関連 内容	資 料 の 整 理	関連 内容
小 1	「数と計算」の中で ○1対1の対応 ○一つの数をほかの数の和や差と関連づけてみる		「数と計算」の中で ○加法減法の式の表現とよみ			
小 2	「数と計算」の中で ○数と大小と順序 ○一つの数をほかの数の積と関連づけてみる ○乗数が1ずつ増えたときの積の増え方		「数と計算」の中で ○乗法の式の表現とよみ ○数式の相等や大小の関係を式に用いて簡潔に表すこと(記号<、>)	P30	「数と計算」の中で ○事柄を簡単な表にしたり、それを読むこと	
小 3	「数と計算」の中で ○乗数が1ずつ増えたときの積の変化		関係の式表示 ○除法の式の表現とよみ ○公式の形に表すこととそのよみ ○□の利用と数を当てはめて調べる		資料の整理とグラフ ○資料の分類、整理 ○棒グラフのよみ方、かき方	
小 4	伴って変わる2つの数量の関係 ○きまりを見つけること ○伴って変わる2つの数量の関係とグラフ	P34	関係の式表示 ○()を使った式 ○公式の利用 ○□、△の利用と数を当てはめて調べる	P18 P20	資料の分類整理とグラフ ○2つの事柄に関して起こる場合2つの観点から分類整理 落ちや重なるの検討 ○特徴や傾向を調べる 折れ線グラフのよみ方・かき方	
小 5	簡単な式で表されている数量の関係 ○ $A+B=C$ 、 $A \times B=C$ などの簡単な式で表される数量の関係の見方や調べ方		a、xなどを用いた式 ●公式などの表している関係を用いる範囲の小数への拡張 ●文字a、xの利用と数を当てはめて調べる(文字の使用)	P20	百分率 ○百分率の意味、利用 ○資料の分類・整理と円グラフ、帯グラフ	

中・高における学習指導における連携の必要性

- 生徒の視点に立った、6年間を見通した学習指導計画作成の必要性と指導の一貫性
 - 新学習指導要領の趣旨に沿って、基礎・基本の確実な定着を図る
 - アンケートを実施し、生徒からの評価を指導計画に反映する
 - 中・高で学習内容・学習方法の共有化を進めること —教科書を互いに見合うこと—
 - 「サクシード」「サクシードⅡ」に示された学習内容のつながりの表を参考にする
- 生徒のつまずきを防ぐために必要なこと—授業改善のために—
- 指導方法の違いや、指導形態・スタイルの相違点を確認すること
 - グループ活動等の良さ等、中学校・高校で指導形態の工夫と相互理解を図る